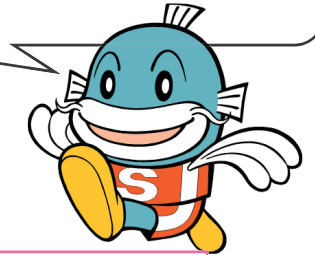


滋賀県 交通環境学習 ～未来のまちづくり交通教室～ の御紹介
子どもたちに身近な“交通”の素材を
授業に活用してみませんか？



バス車両や授業資料を提供し、
授業のお手伝いをします

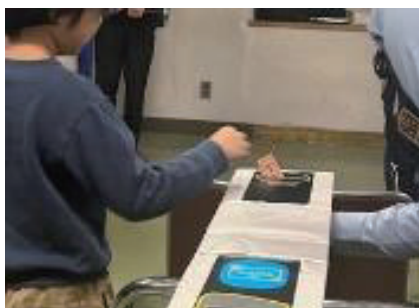


ウェブページはこちらから



滋賀県 交通環境学習

検索



お申込みはこちらから



滋賀県 交通環境学習申込み

検索

【申込み・問合せ先】

滋賀県交通まちづくり部交通まちづくり政策課
(交通環境学習担当)

TEL : 077-528-3680

FAX : 077-528-4837

MAIL : ra00@pref.shiga.lg.jp

【申込み締切】

実施希望日の50日前までです。

最終締切は以下のとおりです。

- バスを使用する体験授業 … 令和8年7月31日(金)
- その他 … 令和8年12月25日(金)

目 次

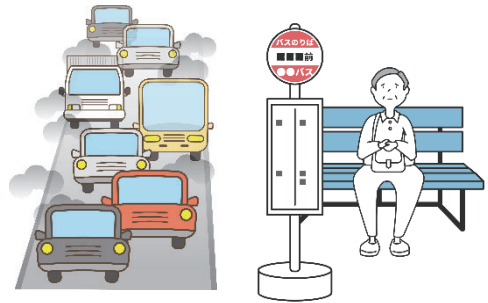
1. 交通環境学習について		P2	
2. 交通環境学習の実施までの流れと留意事項		P3	
3. 学習プログラムのメニュー・提供素材の見方		P5	
4. 提供素材を活用した学習の事例の見方		P6	
5. 過去の実績		P7	
6. メニュー・提供素材			
座学	1	身の回りの公共交通	P9
	2	公共交通のマナー	P10
	3	バスの乗り方	P11
	4	電車の乗り方	P12
	5	鉄道すごろくゲーム	P13
	6	地域の公共交通の現状と問題	P15
	7	地域の交通の紹介、時刻表・路線図の読み方	P17
	8	環境と交通	P19
体験	1	バスの乗降体験	P21
	2	バスの車両観察	P22
	3	運転手へのインタビュー	P23
	4	バスの走行体験	P24
	5	電車の切符購入体験	P25
	6	鉄道事業者による体験授業	P26
	7	バスを活用したバリアフリー体験	P27
7. 提供素材を活用した学習の事例		P29	
8. 申込みについて			
申込み方法・申込みシートの記入方法		P33	
R8年度 交通環境学習 申込みシート (FAX用)		P34	
R8年度 交通環境学習 申込み先 (しがネット受付サービス)		最終 ページ	

交通環境学習について

【交通をとりまく現状・問題】

自由に、快適に移動できる自家用車の普及に伴い、滋賀県では自家用車が移動手段の中心となっていますが、その一方で課題も生じています。

道路の渋滞、CO2排出量の増加、運動不足等に加えて、公共交通の利用者が大きく減少しています。子どもから高齢者を含む大人まで「バスに乗ったことがない」「乗り方がわからない」といった声も聞かれます。



利用者の減少に応じて、バスや電車の減便や廃線も生じていますが、このまま公共交通のサービスの低下が進めば、自家用車が利用できない人や、事情があって自家用車が利用できない時に、基本的な生活に支障が生じる懸念があります。そしてこのような状況は、急な用事や病気、けが、高齢化などにより、誰にでも起こる可能性があります。

そのため滋賀県では、県民の意識とライフスタイルを、自家用車中心から公共交通を中心とした「エコ交通」への転換を図る取組を積極的に展開しています。

【交通環境学習の目的】

取組の大きな柱の一つが、「幼少期から地域の公共交通に親しみを持ち、自発的にエコ交通を選択できる人間を育てる」ことを目的とした「交通環境学習」の実践と普及活動です。

次世代を担う子どもたちに、公共交通に親しみを持ってもらうことを通して、地域問題や環境問題に関心を持ってもらうことは、自発的に環境にやさしい交通行動を選択するきっかけになると考えています。

また、今後中学生、高校生と成長していく中で、バスや電車を活用する機会が多くなることを踏まえ、利用方法を勉強してもらい、役立ててもらいたいと考えています。

学校教育においては、地域社会の仕組みを学ぶための、身近で親しみやすい実物教材になると考えています。

【交通環境学習の活用方法】

各学年の生活科や社会科、総合的な学習の時間の単元に合わせた活用が可能です。

- 例)・公共施設の工夫やマナーの学習(バスの仕組みや工夫、乗車マナー等)
- ・福祉の学習(バスを活用したバリアフリー体験、バリアフリーの仕組みの学習等)

※他にも、環境問題やまちの広がりなど、人々の生活に不可欠な「交通」を通して様々な学習展開が可能です。本物や実体験を通して学習することで、より深い学びにも繋がると、先生方からも御好評を頂いています。

交通環境学習の実施までの流れと留意事項

実施までの流れ

本パンフレットで実施したい「学習プログラムのメニュー・提供素材」を選択

推奨

しがネット受付サービスにて申込

「申込みシート」に必要事項を
記入し、FAXで送信

日程調整（滋賀県交通まちづくり政策課が関係機関と調整します）

授業内容の打合せ（電話もしくは現地にて）

授業の実施

実施後、しがネット受付サービスにてアンケートに回答

留意事項

【交通環境学習全般について】

- 座学1～4と体験5の授業については「**授業資料の提供**」に、座学5については「**教材の貸出**」となります。学校の先生で実施いただきますようお願いいたします。
※パワーポイントの資料にはセリフも記載しています。鉄道すごろくのゲームには「遊び方説明書」をお渡しします。ご安心ください。
- 授業当日までに、各小学校から市町教育委員会へ交通環境学習の実施の連絡をお願いいたします。（連絡方法は問いません。）
※申込先は滋賀県交通まちづくり政策課です。
- 近年交通環境学習の申込が多くあります。**実施可能数に限りがある（特にバスを用いる体験授業と鉄道事業者による体験授業）**ことを御理解いただくとともに早めのお申し込みをお願いいたします。どうしても日程調整がつかない場合は、実施時期や実施方法の変更をお願いすることがございますのでご了承ください。
- 打合せについて、「過去に実施がある学校」や「授業資料の提供」の場合は原則電話で実施させていただきますが、バスを搬入する場合は、搬入経路の現地確認をさせていただく場合がございます。
- より良い交通素材の提供方法を検討していくとともに、活用事例の収集を行うため、実施後にアンケートの御協力をお願いいたします。
- 授業資料などの準備のため、**実施希望日の50日前**までにお申し込みください。
最終申込み期限は**令和8年12月25日（金）**とさせていただきます。（バスを用いる体験は以下に記載のとおりとなります。）

【バスを用いる体験学習（体験1～4・7）について】

- バス事業者の繁忙期であることから、**10月・11月はお受けしておりません。**
- バスの手配の関係上、最終申込み期限を**令和8年7月31日（金）**とさせていただきます。
- 各小学校での授業の進め方や事前・事後学習の内容、交通環境学習のめあて等に合わせ、当日の授業の進行を先生の主導で進めていただきますようお願いいたします。（主に授業の導入・まとめの時間）
※県・市町職員および交通事業者は必要なサポート、説明をさせていただきます。

【準備物について】

- 座学に必要な電子黒板（orプロジェクター）やPC、体験学習に必要なコーン、アイマスク、車いす等は小学校にて御準備をお願いいたします。
※データの提供（説明資料・ワークシート・模擬切符等）、バスの手配は県が行います。

提供素材を活用した学習の事例の見方

- 実際に提供素材を活用して授業を実施した小学校の学習事例を御紹介します。
- 御紹介している事例のほか、メニュー・提供素材を活用・組み合わせることにより、様々な学年・単元での学習が可能です。(内容については要相談)

事例 ② 実車のバスを活用した公共交通の学習 ～身の回りの公共交通、マナー+バスの乗り方～		① 2年生 生活科
② 必要な授業時間数 2時間	③ 必要な準備物 パワーポイントが映写できる環境(電子黒板、PC等)	④ 必要な費用 なし
⑤ 連する単元 生活科「公共物や公共施設の利用」	教科目標 学習のねらい <ul style="list-style-type: none"> ■ 身近な地域にどのような乗り物があるかを知り、公共物や公共施設等はみんなで使うものと理解する。 ■ バスの乗り方を学び、愛着を持つ。 	
⑥ ポイント <ul style="list-style-type: none"> ■ 実際のバス車両を用いて乗り方の勉強をすることで、より深い学習となります。 ■ 自家用車とバスの様々な違いを自分で発見できます。 	③ 必要な準備物 <ul style="list-style-type: none"> ■ 事例と同じ内容の学習をする場合に必要となる準備物です。 	
⑦ 学習内容		
座学 <ul style="list-style-type: none"> ■ (座学1)身の回りの公共交通 ■ (座学2)公共交通のマナー 	④ 必要な費用 <ul style="list-style-type: none"> ■ 事例と同じ内容の学習をする場合に必要となる費用です。 	
体験 <ul style="list-style-type: none"> ■ (体験1)バスの乗降体験 ■ (体験2)バスの車両観察 ■ (体験3)運転手へのインタビュー 	⑤ 学習の位置付け <ul style="list-style-type: none"> ■ 実施した学習の単元の位置付け・ねらい等が記載されています。 	
⑧ 授業の流れ		
1時間目 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校の周りの公共交通について(20分) ■ 公共交通のマナーについて(20分) ■ まとめ(5分) ※座学は学校の先生に実施いただきます。	
2時間目 (体験)	<ul style="list-style-type: none"> ■ バスの乗り方の説明(5分) ■ バスの工夫紹介(5分) ■ バスの乗降体験(15分) ■ 車両観察(10分) ■ 運転手へのインタビュー・まとめ(10分) 	
⑨ 実施した学校の先生の感想 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の住んでいる地域には、何の公共交通があるのかを知り、次おでかけするときはバスに乗りたいと話していた子もいた。校外学習の前にマナーについて学べたことが良かった。 ■ バスの乗車体験や車両観察など実際に自分の目で見て直接話を聞く体験は、座学で教えるよりも子どもたちの印象に残りやすく、授業にも積極的に取り組んでもらえた。 		
⑧ 授業の流れ <ul style="list-style-type: none"> ■ 実際に行われた授業の流れが記載されています。 		
⑨ 実施した先生の感想 <ul style="list-style-type: none"> ■ 実際に授業を行った学校の先生の感想が記載されています。 		

過去の実績

～ 過去の実績一覧 ～

年度	件数	年度	件数	年度	件数
H28年度	2市町 4校	R2年度	15市町 55校	R6年度	18市町 73校
H29年度	6市町 14校	R3年度	17市町 66校	R7年度	17市町 69校
H30年度	9市町 18校	R4年度	15市町 65校		
R1年度	9市町 26校	R5年度	15市町 77校		

～ R7年度の実施小学校・学年～

市町	小学校／幼稚園・保育園、(カッコ内は学年)	
大津市	13校	仰木小学校(1・2)、雄琴小学校(2・4)、中央小学校(2)、晴嵐小学校(2)、富士見小学校(2)、南郷小学校(2)、日吉台小学校(2)、瀬田北小学校(2)、真野北小学校(2)、青山小学校(2)、木戸小学校(2)、小松小学校(2)、小野小学校(1・2)
彦根市	10校	城東小学校(2)、城西小学校(2)、城北小学校(2)、旭森小学校(2)、鳥居本小学校(2)、河瀬小学校(2)高宮小学校(2)、城陽小学校(2)、稲枝西小学校(2)、若葉小学校(2)
長浜市	3校	北郷里小学校(3・特別支援学級)、びわ南小学校(2)、虎姫学園(2)
近江八幡市	4校	島小学校(2)、金田小学校(2)、武佐小学校(2)、安土小学校(2)
草津市	5校	笠縫小学校(2・4)、常盤小学校(2)、矢倉小学校(2)、南笠東小学校(3)、渋川小学校(2)
守山市	2校	守山小学校(2)、河西小学校(2)
栗東市	2校	葉山小学校(特別支援学級)、大宝東小学校(2・3年生、特別支援学級)
甲賀市	9校	伴谷小学校(4)、柏木小学校(2)、綾野小学校(2)、大野小学校(1・2)、土山小学校(1・2)、甲南第一小学校(2)、甲南第二小学校(2)、甲南第三小学校(4)、小原小学校(1・2)
野洲市	1校	篠原小学校(2)
湖南市	1校	岩根小学校(2)
東近江市	8校	御園小学校(2)、箕作小学校(2)、布引小学校(2)、市原小学校(2・3)、愛東南小学校(2)、蒲生東小学校(2)、蒲生西小学校(2)、能登川北小学校(2)
米原市	2校	伊吹小学校(2)、春照小学校(2)
日野町	4校	日野小学校(2)、南比都佐小学校(1・2)、必佐小学校(2)、桜谷小学校(1・2)
愛荘町	2校	秦荘東小学校(2)、愛知川東小学校(2)
豊郷町	1校	日栄小学校(2)
甲良町	1校	甲良東小学校(2)
多賀町	1校	多賀小学校(特別支援学級)
合計	17市町 69校	

※R6年度以前の実施校一覧は「滋賀県 交通環境学習」で検索、もしくはこちらから →



座学の メニュー・提供素材



※座学と体験を組み合わせるとより効果的な学習ができます

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

資料提供

必要
時間

約15分

素 材

パワー
ポイント

内 容

- 普段乗っている「のりもの」から、滋賀県内の公共交通を写真や絵で紹介します。
- どのような方が利用されているかを学び、「誰でも使える大切な乗り物」として公共交通を学びます。
- 地域の公共交通について、紹介しながら学びます。

提供素材例

■ 身の回りの公共交通に関する資料

お出かけの時、どうやって行く？



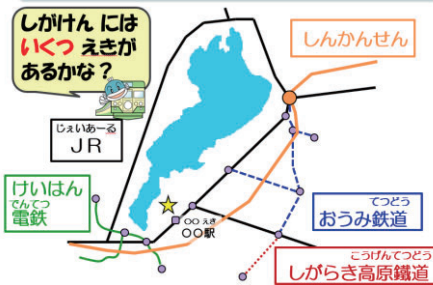
こんなのりものもあるよ！



しがけんを走る電車たち



しがけんの鉄道



バスや電車は みんなの のりもの①

バスや電車は… だれでも のることができる
みんなの のりもの！



バスや電車は みんなの のりもの②



バスや電車のような みんなの のりもの、
だれでもつかえる のりもの ことを・・・

こうきょう こうつう
公共交通 と、いいます。

公共交通 ○×クイズ！！

●バスと車では、バスのほうが
たくさんの方がのれる！ ○？×？



公共交通 ○×クイズ！！

●バスにのる人が どんどんへったら、どうなるの？
うんてん手さんに、聞いてみよう。

おきやくさんがへってしまうと
バスが走る数をへらしたり、
バスが走る道や、バステいを
なくしたりすることがあります。
電車もおなじことです。

えっ？
バスや電車が
なくなるってこと？



まとめ

●車だけでなく、バスや電車も なかよくしよう！

バスや電車は、みんなにとって、
とてもたいせつな のりものです。

バスや電車で行けるところには、
バスや電車で、お出かけしてみよう。

おうちの ひと、
「バスや電車で、お出かけしてみよう！」
と、いってみてくださいね。

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

資料提供

必要
時間

約15分

素 材

パワー
ポイント

内 容

- 公共交通を利用する時のマナーについて、クイズをしながら学びます。
- 説明するだけでなく、子どもたちに考えてもらいながら学習を進めます。

提供素材例

■ 公共交通のマナーに関する資料

公共交通 マナーについて



ねえねえキャッフィー！
「マナー」って なに？

うおーたん、いいしつもんだね！
「マナー」は、
「みんなが **気持ちよく** 過ごす
ための『おもいやり』」のことだよ。



公共交通 マナーについて



「みんなが **気持ちよく** か…
バスや電車は、たくさんの人がつかうから
「マナー」はたいせつだね。

そう！ひとりでも「マナー」を
まもらない人がいると、そこにいる **みんなが**
いやな気持ちになってしまうんだ。

「みんなが **気持ちよく**
バスや電車にのるための「マナー」を
いっしょに **べんきょう**しよう！



公共交通 ○×クイズ！



●バスや電車は、**車いす**の人ものれる。
○？×？



公共交通にある だじなマーク②

●バスや電車には「**優先**」があります。
みんなが**気持ちよく**のるために、どうすればいいかな？



マナーについて かんがえよう



マナーについて かんがえよう



マナーについて かんがえよう



マナーについて かんがえよう



おわりに…

- みんながつかう のりものや しせつでは、
みんなが **気持ちよく** つかえるよう、
マナーを **まも**ることが、たいせつです。
- 「マナー」とは、「みんなが **気持ちよく**
過ごすための『おもいやり』」のこと。
- 学校や家でも、「マナー」を **まも**って
みんなで **気持ちよく**まい日を **すご**そう！



内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

資料提供

必要
時間

約15分

素 材

パワー
ポイント

内 容

- バスの乗り方について、パワーポイントを活用して学びます
- 乗合バスと観光バスの違い等を写真で確認しながら学びます。
- 安全な乗車方法についても、写真を見ながら学べます。

提供素材例

■ バスの乗り方に関する資料

バスのしゅるい

- バスは、はたらきによって2つにわけられます

形がちがう...だけではないだね



かしきり

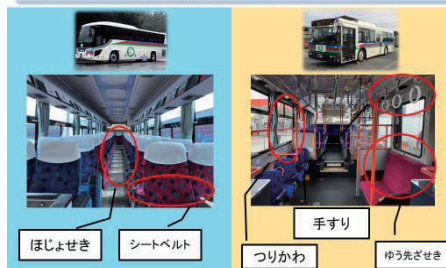


のりあい

かしきりバスとのりあいバス

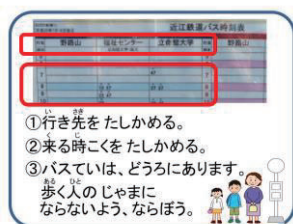


バスについて かんがえよう



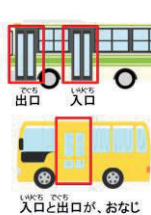
バスに乗るためには・・・?

- バスていに行き、バスが来るのをまちます



バスが来たら、バスにのります

- バスの入口と、出口はどこだろう?



入口と出口が、おなじ



バスに乗るときに・・・?

- 「せいのりけん」を、とりましょう



とりやすれにちゅうい!!



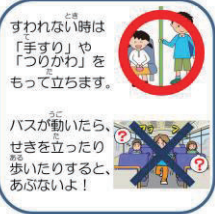
バスに乗ったら、すわりましょう

- バスに乗ったら、あいている「ざせき」にすわりましょう。



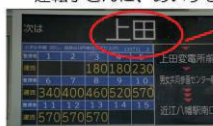
手すり

つりかわ



バスからおりる前は・・・?①

- おりるバスていが ちかづいたら、ボタンをおして運転手さんに、あいずをしましょう。

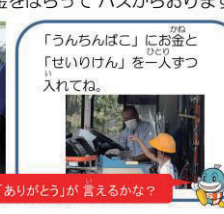


車内のアナウンスやけいじばんで、おりるバスていが出たら「ボタン」をおしてね。

バスが止まるまで せきを立たないでね。バスはゆれるのでケンだよ。

バスからおりる時は・・・?

- バスがバスていで 止まったら、バスの前にある「うんちんばこ」にお金をはらってバスからおります。



運転手さんに「ありがとう」が言えるかな?

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

資料提供

必要
時間

約20分

素 材

パワー
ポイント

内 容

- 電車の乗り方について、パワーポイントを活用して学びます。
- 安全な乗車方法についても、写真を見ながら学べます。
- 切符の購入体験(体験5)と組み合わせて学習すると効果的です。

提供素材例(例:JR)

■ 切符の買い方、電車の乗り方に関する資料

きっぷを買きましょう①

- 駅についたら「うんちんひょう」を見て、行きたい駅をさがそう。



きっぷを買きましょう②

- 「けん売き」でお金をはらって、きっぷを買きましょう



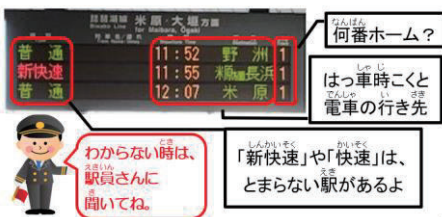
かいさつ口を通る前に…



【もりやま駅の かいさつ口】

のる電車を たしかめよう

- 駅の「かいさつ口」に、「けいじばん」があるよ。どの電車にのればいいか、たしかめよう。



かいさつ口を通ります①

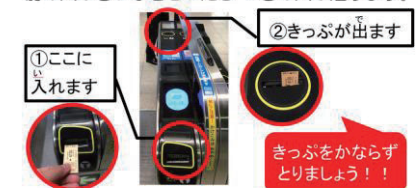
- のる電車がわかったら、かいさつきにきっぷを入れて、一人ずつかいさつ口を通ります。



「←」になっているかいさつきを通ります。「IC」と「→」は通れません。

かいさつ口を通ります②

- 一人ずつじゆんばんにきっぷを1まい入れます。前の人がきっぷをとったら つぎの人が通ります。



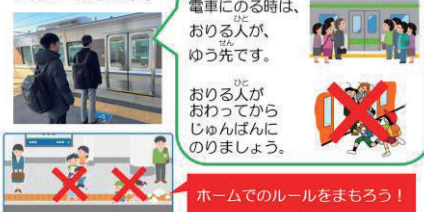
ホームで電車を まちましよう

- のる電車が来るホームで、電車をまちます。



電車にのりましよう①

- 電車がとまるまで、黄色の点字ブロックから出ずにまちます。



「あんぜん」のために・・・

- 電車や駅をつかう みんなでルールをまもろう!



座学
5

鉄道すごろくゲーム

内容が特に
マッチする
学年・教科

4年生
社会科

実施
形式

教材貸出

必要
時間

約45分

素 材

すごろく
セット

内 容

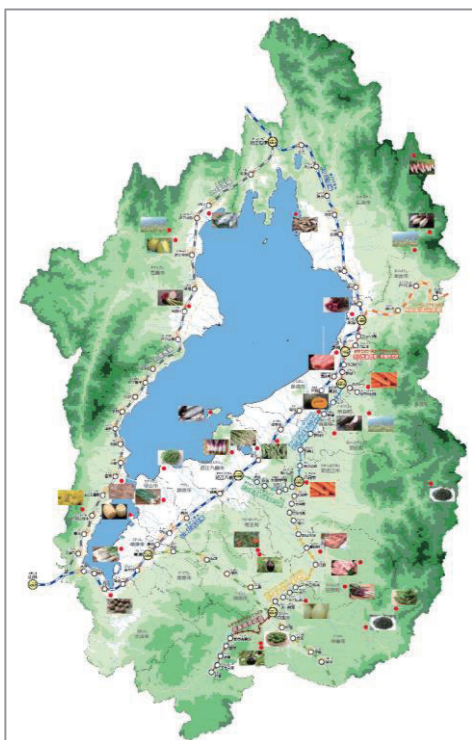
滋賀県内の鉄道路線図をすごろくとし、県内で実際につくられている食材を集めに鉄道駅を進んでいく、ゲーム型の素材です。

ポイント

- 体験を通じて交通の広がり(路線名や乗換駅等)や地域の特徴・特産品を学びます。
- 鉄道すごろくゲームで遊びながら、単元の理解を深めることができます。

提供素材例

- 鉄道すごろくの遊び方に関する資料
- ワークシート



鶏肉の南蛮そば



必要な食材

食材がある駅

近江長岡駅 (京 東海道線)

白野駅 (近江鉄道 水口・南生野線)

安土駅 (京 越前線)

甲津原みょうが



必要な食材

食材がある駅

鉄道すごろくワークシート(表)

①メニューを引いて、必要な食材を確認しよう
 ②早く帰ってくるのに、まず何を持ち入れにどの駅に行くか、どの鉄道を通っていくか計画して行ってみよう
 ③3つの食材が集まるまで、繰り返し、実施しよう

1回目	2回目
メニュー: <input type="text"/>	メニュー: <input type="text"/>
出発駅: 寺庄駅	出発駅: 寺庄駅
利用する鉄道: <input type="text"/>	利用する鉄道: <input type="text"/>
食材1: <input type="text"/> 駅1: <input type="text"/>	食材1: <input type="text"/> 駅1: <input type="text"/>
利用する鉄道: <input type="text"/>	利用する鉄道: <input type="text"/>
食材2: <input type="text"/> 駅2: <input type="text"/>	食材2: <input type="text"/> 駅2: <input type="text"/>
利用する鉄道: <input type="text"/>	利用する鉄道: <input type="text"/>
食材3: <input type="text"/> 駅3: <input type="text"/>	食材3: <input type="text"/> 駅3: <input type="text"/>
順位: <input type="text"/>	順位: <input type="text"/>

【ゲームの内容】

- 地産地消カフェの店員となり、ゲーム開始時に指定された料理に用いる食材を鉄道をつかって仕入れに行くゲームです。
- カードに書かれているヒントを見て、必要な食材がどこにあるかを考えながら、鉄道を使って探しに行きます。
- 食材を集めてはやくスタート地点に戻ってきた人が勝利です。

授業の実施イメージ

【鉄道すごろくゲームの説明】 … 5分

- 鉄道すごろくの内容
- 鉄道すごろくの準備、遊び方 等

【鉄道すごろくの実施 …40分 1班 4～6人程度

- 自分が経由する駅がどこにあるのかをシートから探す
- 鉄道すごろくを実施
- 利用した駅や、食材の特徴（時期や主な産地等）をワークシートに記入

【まとめ】 … 5分

- すごろくをして気づいたことを発表
(交通の広がり、地域の特徴、滋賀県の地形 など)

ゲームの進め方

1. メニューカードを1人1枚ずつひきます

あなたがつくる料理

料理に必要な食材

すごろくのコマを進めて
食材をゲット!!

ゲームの進め方

2. 食材がつけられている駅をすごろくボードで確認したあと、まずは、どの順番でまわるのか計画し、シートに記入しましょう

ゲームの進め方

4. ・びったり、もしくはそれより大きい目がでれば止まりたい駅に止まることができます
・他に路線を乗り換える時は、必ず乗換駅に止まる必要があります

ゲームの進め方

5. 駅に到着したら、同じ駅名が書かれている食材カードの中から必要な食材カードを1枚とりましょう

ゲームの進め方

6. 全ての食材をそろえて、スタート駅に戻ってくとゴールです1位をめざしてがんばりましょう

全ての食材カードをゲット!!

すごろくがおわったあとは…

- 集めた食材カードをみて、旬の時期や主な産地を確認しよう
- 集めた食材で他に作れそうなメニューを考えてみよう
- すごろくをしてみて気づいたことを書いてみよう

食材名	旬の時期	主な産地	備考
鶏肉	11月～2月	山梨県	
鶏卵	
醤油	
味噌	



実施した学校の先生の感想

- すごろくにより意欲的に参加し、もっとやりたいという子どもが多くみられた。滋賀県の鉄道や特産物について学ぶことができ、教科書だけでは分からない滋賀の魅力に気付くことができた。
- まだまだ地名や何駅があるのかを知らない子どもが多いため、楽しみながら地域の学習にもなった。

内容が特にマッチする学年・教科	6年生 総合的な学習	実施形式	資料提供 or 出前授業	必要時間	約45分	素材	パワーポイント
-----------------	---------------	------	--------------------	------	------	----	---------

内容

■ 地域の公共交通の現状・問題と、それに対する行政の支援等(コミュニティバス・乗合タクシーの運行、利用促進の取組等)を紹介します。

ポイント

- 暮らしに密接した公共交通の視点から考えることにより、地域の現状と将来のあり方を考えるとともに、政治の役割・働きについてイメージがしやすくなります。
- 行政担当者等から話を聞くことで地域で働く人の想い・考えを学ぶ、キャリア学習としても効果的です。

提供素材例

- ・地域の公共交通の現状と行政支援に関する資料
- ・地域の公共交通に関する資料(路線図、利用者推移等)

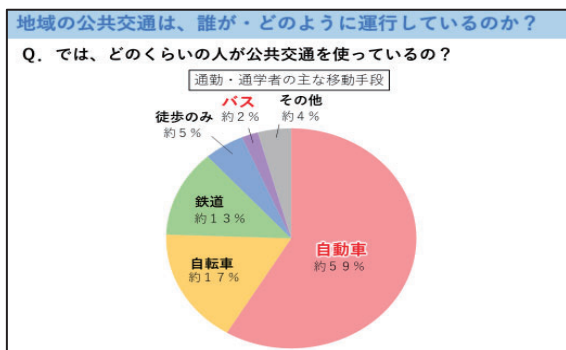
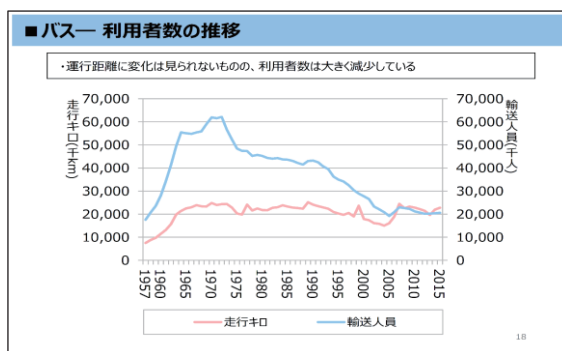
地域の公共交通は、誰が・どのように運行しているのか？

Q. 彦根地域の“公共交通”は誰が運行しててしょう？

鉄道
近江鉄道株式会社
JR西日本 (西日本旅客鉄道株式会社)

バス
湖国バス株式会社

愛のりタクシー
彦根市 愛のりタクシー
豊郷町 甲良町 多賀町



地域の公共交通は、誰が・どのように運行しているのか？

Q. 公共交通を利用してもらうために、どんなことをしているの？

小学校での授業

愛のりタクシー利用方法についての説明会

チラシの作成・配布

地域の公共交通は、誰が・どのように運行しているのか？

Q. このままだとどうなるか？

車ばかり使う

人口の減少

公共交通の利用が減少
・住民が少ない地域から撤退

高齢者が外出できる

地域の公共交通は、誰が・どのように運行しているのか？

Q. なぜ、公共交通を守らないといけないのか？

公共交通にはこんな良いところがあります。

渋滞が減る

CO₂が削減できる

誰でも乗ることができる

事故が防止できる

など...

授業の実施イメージ

○地域の公共交通の現状

問: 地域の公共交通にはどんなものがあるのか、誰が運行しているのか?

→(公共交通の種類) 鉄道、路線バス、乗合タクシー等

→(運行主体) ●●鉄道、●●バス、●●市

問: 地域の公共交通の問題点は?

→自家用車の利用増加、地域の人口が減少

→利用減少により、住民が少ない地域から撤退

→移動手段がなくなり日常生活に支障をきたす

問: 地域の公共交通の役割は?なぜ守る必要があるのか?

→高齢者の外出支援、渋滞解消、交通事故抑制、CO2削減等

○行政や事業者が実施している利用促進等

→小学校への授業、チラシ作成・配布、利用方法の説明会等

○まとめ

地域の交通に関わる人の話を踏まえ、自分たちにもできることは何かあるか



実施した学校の先生の感想

- 滋賀県の交通環境について知り、公共交通は地域の人々にとって大切なものであり、守っていかないといけないと学んでいた。自分の見たことがある乗り物の紹介もあり、より自分事としてとらえていた。
- 働く人々の考えを知ることで自己の成長に生かされた。

地域の交通の紹介、時刻表・路線図の読み方

内容が特に
マッチする
学年・教科

—

実施
形式

資料提供
or
出前授業

必要
時間

約45分

素 材

パワー
ポイント

内 容

- 自分の住んでいる地域を支えている交通について紹介し、時刻表・路線図の読み方等について学習します。

ポイント

- 地域を支えている公共交通の運行形態や利用方法を学びます。
- 公共交通を使って一人でも目的地にたどり着けるように、実際の時刻表等の読み方について学ぶため、校外学習で公共交通を利用する際の事前学習としても効果的です。

提供素材例

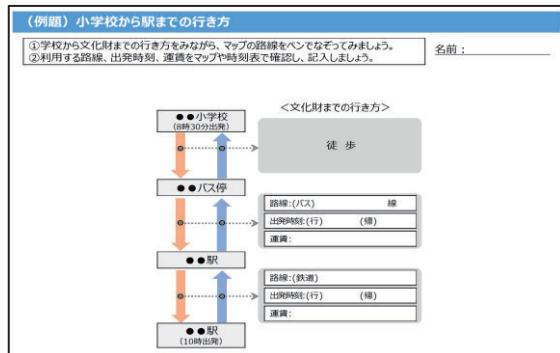
- 地域の交通についての資料
- 時刻表・路線図の読み方に関する資料



コミタクとは

コミタク停留所ポール↓

- ・タクシー車両を利用した公共交通であり、決められたエリア内の停留所同士を結ぶ形で運行しています。
- ・乗車には事前の予約が必要です。予約がなければ運行しません。
- ・予約のない時は通常のタクシーとして運行しており、予約があった際にはコミタクとして運行されます。



(例題) 小学校から駅までの行き方

山本線 時刻表 (平日)

区間	種別	時刻	運賃
小学校 → 文化財	徒歩	30分	0円
	バス	9:28	100円
文化財 → 小学校	バス	9:37	100円
	徒歩	30分	0円

(例題) 小学校から駅までの行き方

土山線 (平日)

区間	種別	時刻	運賃
小学校 → 文化財	徒歩	30分	0円
	バス	8:53	100円
文化財 → 小学校	バス	9:22	100円
	徒歩	30分	0円

授業の実施イメージ

【事前学習】

公共交通の使い方(講座)

- 小学校の地域を運行する公共交通の紹介
- 時刻表の読み方を説明
- 利用方法を説明

目的地(例:文化財)までの行き方(計画をたてる)

- 利用する公共交通機関及び路線をマップで確認
- 公共交通の出発・到着時刻、必要な運賃を時刻表で確認

【校外学習】

調べたルート・時間のとおり公共交通を利用し、目的地まで行く。

※この授業では事前学習について、お手伝いします。



【ワークシートの一例】

ディスカバー●●
～バスに乗って●●の魅力、再発見!～

6年 名前()

行きたい所 . . .
やりたい事 . . .
見たい物
何分必要? . . .

場所・バス停	時間	移動方法(歩き・バス○○線)
●●小学校	10:50	(歩き)
▲▲バス停	10:55発	(バス: ●●線)
■ ■バス停	11:03着	(歩き)
目的地	11:05~12:25	(歩き)
■ ■バス停	12:28発	(バス: ●●線)
▲▲バス停	12:36着	(歩き)
●●小学校	12:38	

実施した学校の先生の感想

- 地域の交通が何があるかを知り、利用方法もわかったことで利用していこうとする意識が出ていた。
- 時刻表の見方をわかりやすく教えていただき、目的地と予定時間からどの時間のバスに乗ればよいかを学び、有意義だった。自分の住む地域のことを学習する貴重な機会であり、実物素材を活用することで理解が深まった。

内容が特に
マッチする
学年・教科

5年生社会科
6年生理科

実施
形式

資料提供

必要
時間

約15分

素 材

パワー
ポイント

内 容

自分の身近な公共交通に触れながら、環境問題について学習します。

ポイント

- 自分が住んでいる地域の移動手段割合の比較や二酸化炭素の排出量の比較等、身近な乗り物で環境問題を学びながら、環境行動について自分にできることを考えることができます。

提供素材例

- 地域の交通についての資料
- 環境に関する資料(二酸化炭素の排出量等)

お出かけの時、どうやって行く？

車 バス 電車

まずは、甲賀市の人がどのくらい車・バス・電車を利用しているのかを見てみよう。

どのくらいの人が利用しているの？ (電車)

路線	令和2年度	令和元年度	平成30年度
JR草津線	5,157人	6,677人	6,769人
信楽高原鐵道	861人	1,199人	1,142人
近江鐵道	1,303人	1,816人	1,816人

※1日平均輸送人員(甲賀市内)

甲賀市の人の移動手段って？

鉄道やバスなどの公共交通はほとんど使われてない！

二酸化炭素の排出量の比較

移動手段	排出量 (g-CO ₂ /人キロ)
鉄道	19
バス	51
自家用乗用車	173

自動車は、鉄道の約9倍、バスの約3倍の二酸化炭素を排出しているんだ

二酸化炭素の排出量の比較

自動車を利用した時に出る二酸化炭素

エアコンを18時間使用 テレビを52時間使用

約676gCO₂ エアコン(暖房) 18時間 自動車 5分 テレビ 52時間

このままだとどうなるの？

ちきゅうおんだんか
どんどん地球温暖化が進んでしまう
さらに、公共交通がなくなってしまう可能性がある

体験の メニュー・提供素材



※座学と体験を組み合わせるとより効果的な学習ができます

体験
1

バスの乗降体験

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

体験
サポート

必要
時間

約20分

素 材

実車
バス

※20人程度を想定

実施内容

- バスを小学校へお持ちし、乗降体験を行います。
 - バス事業者よりバスの乗り方について説明します。
 - 実際のバスを活用した学習であり、実践的な内容です。
- ※道路、校庭の状況等により、バスの持ち込みが出来ない場合があります。
(他の場所を借りていただいで実施することも可能です。)

実施例

- バス事業者によるバスの乗り方の説明
- バスの乗車体験

乗車→整理券を取る→座席に座る→料金表の見方や車内マナーの説明
→降車ボタンを押す→運賃を払う(お金券)→降車



体験
3

運転手へのインタビュー

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

体験
サポート

必要
時間

適宜

素 材

実車
バス

実施内容

- バスの運転手さんたちが直接子どもたちの疑問に答えます。
- 「働くひとたち」の学習もできます。
- 事前に質問票をいただければ、細かい質問にも対応可能です。

実施例

- 運転手さんたちへのインタビュー
- 職業に対するおはなし



体験
4

バスの走行体験

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

体験
サポート

必要
時間

約20分

素 材

実車
バス

※20人程度を想定

実施内容

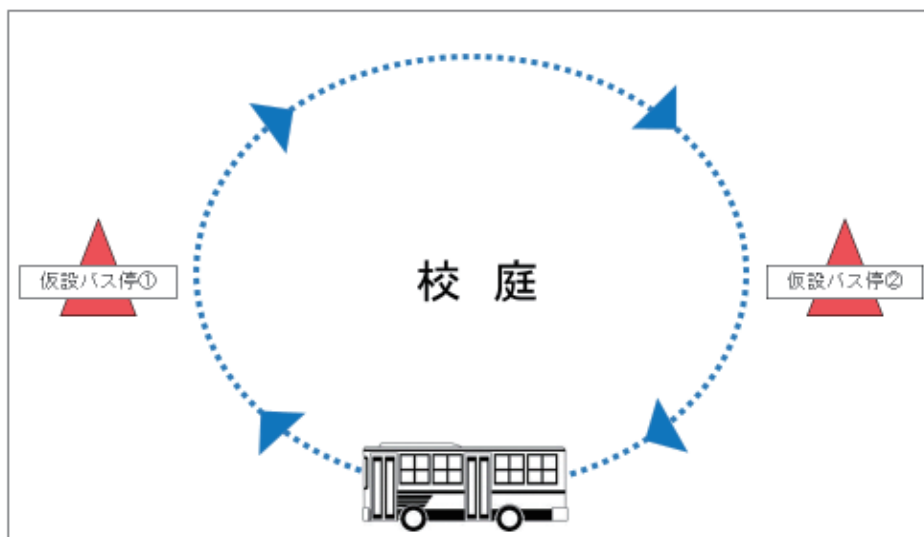
- バスの乗降体験(体験1)の応用編として、校庭内にバス停を数個つくり、バスを走らせ、乗降してもらいます。

※道路、校庭の状況等により、バスの持ち込み・走行が出来ない場合があります。

※バスの乗降体験(体験1)とセットでの授業となります。

実施例

- 2つの班に分かれる
- 2班それぞれ別のバス停から乗車し、目的地のバス停で降車



体験
5

電車の切符購入体験

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

資料提供

必要
時間

1人あたり
約30秒

素 材

模擬
券売機
(ポスター)

実施内容

- 模擬の券売機(ポスター)を作成し、学校へ提供します。
- 1人1人切符の買い方を練習します。
- 電車の乗り方(座学4)と組み合わせると効果的です。

提供素材例

- 模擬券売機・模擬切符



体験
6

鉄道事業者による体験授業

内容が特に
マッチする
学年・教科

2年生
生活科

実施
形式

体験
サポート

必要
時間

約45分

素 材

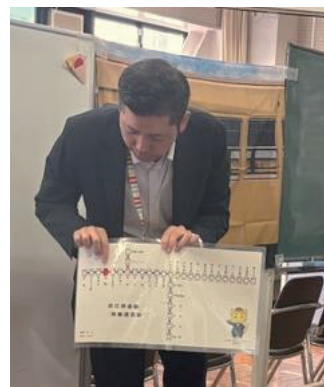
模擬
券売機
など

実施内容

- JR西日本や近江鉄道の社員さんから電車の乗り方・切符の買い方を学びます。
 - 1人1人、切符の買い方や運賃の支払い方を練習します。
 - 練習時には、買い方・支払い方の説明・支援を行います。
 - 模擬ホームで電車の待ち方や、模擬車両で乗車マナーを学びます。
- ※実施内容は鉄道事業者と協議のうえ決定します。

実施例

- 切符の購入体験・駅の改札入場体験
- 電車の乗り方について



※鉄道事業者の実施可能な場合に限りますので、お受けできないこともございます。

体験
7

バスを活用したバリアフリー体験

内容が特に
マッチする
学年・教科

4年生
総合的
な学習

実施
形式

体験
サポート

必要
時間

約45分

素 材

実車
バス

実施内容

- バスを小学校へお持ちし、障害者の乗降体験を行います。
例) 車いすを利用しての乗降体験
アイマスクを装着しての乗降体験
- バス事業者より、車いす利用者が乗車される時の対応や、バスの工夫等について説明します。
- バス車両の工夫点を観察することが出来ます。
- 体験学習で資料するワークシートの提供も行います。

※介助の仕方等については事前に学校で説明と練習をお願いいたします。

※体験学習に必要なアイマスクや車いす等は御準備をお願いいたします。

※時間配分の関係上全員が体験できない場合があります。

ポイント

- 実際のバス車両での体験から、普段の生活や移動で自分にできることを実感を持って理解できます。
- すでに取り組みされているバリアフリーの配慮・工夫等から、社会の仕組みを実感することができます。

授業の流れ(例)

※導入、まとめは小学校にて実施願います。

導 入

障害者とともに生きることを考える

- (例)アイマスク等の使用、介助方法を学習する
- (例)バス車両の仕組みを予想する

体験学習
(1時間)

導入授業を踏まえ、障害者の移動を実感する



まとめ

体験学習を通じて、自分にできることを考える

- (例)体験、観察を通して気付いたことを発表 (バスの工夫等)
- (例)公共交通はみんなにとって大切な移動手段であることに気付く

授業の実施イメージ

【事業者からの話】 …5分

- バス車両の工夫について
- 利用者からの声
- 障害があるお客様への対応、気を付けてほしいこと 等

【バス車両でのアイマスク体験】（全員） …20分

- 2人1組（体験者+介助者）に分かれてアイマスクを着用
- 各ペアが順番に乗車し、運賃支払・降車を順番に体験
- ワークシートに体験の感想・気付いたこと等を記入

【バス車両での車いす体験】（代表児童） …5分

- 代表児童（体験者1人、介助者1人）による車いす体験
- 感想を発表
- ワークシートに体験の感想・気付いたこと等を記入

【車両観察、質問コーナー】 …15分

- バス車両のバリアフリーの工夫や仕組みを観察
- 観察時の疑問や全体を通した事業者への質問



バスにはどんな工夫があるかな？

観察してみよう！

- ・バスの車両にはどんな工夫があるかな？
- ・自分が自由にのりやすくてバスに乗る人が多かったところは？

バスに工夫がされているのはなぜ？ 考えてみよう。

「バス」にされている工夫は？

それは、なぜされているのかな？



実施した学校の先生の感想

- アイマスクをしながら車両の狭い空間を行き来する体験は、介助の大切さを知る貴重な機会。大人も初めて知るような工夫が車両にはたくさんあり、子どもたちの発見につながる良い経験になった。
- 実際にアイマスクをしてバスの乗り降りをする事で、身体の不自由な人に対する思いを持ったり、身の回りのバリアフリーに目を向けたりすることができていた。

提供素材を活用した 学習の事例



※本冊子に載っていない事例もございます。
右の二次元コードを読み込んでいただき御参照ください。

ウェブページはこちらから



滋賀県 交通環境学習 Q 検索

事例	実車のバスを活用した公共交通の学習 ～身の回りの公共交通、マナー+バスの乗り方 ver.～	2年生 生活科
----	--	------------

必要な授業時間数	必要な準備物	必要な費用
2時間	パワーポイントが映写できる環境(電子黒板、PC等)	なし

関連する単元	生活科「公共物や公共施設の利用」
--------	------------------

教科目標 学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身近な地域にどのような乗り物があるかを知り、公共物や公共施設等はみんなで使うものと理解する。 ■ バスの乗り方を学び、愛着を持つ。
----------------	--


ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実際のバス車両を用いて乗り方の勉強をすることで、より深い学習となります。 ■ 自家用車とバスの様々な違いを自分で発見できます。
------	--


学習内容

座学	<ul style="list-style-type: none"> ■ (座学1)身の回りの公共交通 ■ (座学2)公共交通のマナー
----	---

体験	<ul style="list-style-type: none"> ■ (体験1)バスの乗降体験 ■ (体験2)バスの車両観察 ■ (体験3)運転手へのインタビュー
----	--

授業の流れ

1時間目 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校の周りの公共交通について(20分) ■ 公共交通のマナーについて(20分) ■ まとめ(5分) <p>※座学は学校の先生に実施いただきます。</p>	
--------------	--	---

2時間目 (体験)	<ul style="list-style-type: none"> ■ バスの乗り方の説明(5分) ■ バスの工夫紹介(5分) ■ バスの乗降体験(15分) ■ 車両観察(10分) ■ 運転手へのインタビュー・まとめ(10分) 	
--------------	---	---

<p>実施した学校の先生の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の住んでいる地域には、何の公共交通があるのかを知り、次おでかけするときはバスに乗りたいたと話していた子もいた。校外学習の前にマナーについて学べたことが良かった。 ■ バスの乗車体験や車両観察など実際に自分の目で見て直接話を聞く体験は、座学で教えるよりも子どもたちの印象に残りやすく、授業にも積極的に取り組んでもらえた。

事例	座学のための公共交通の学習 ～バスの乗り方、電車の乗り方 ver.～	2年生 生活科
----	---------------------------------------	------------

必要な授業時間数	必要な準備物	必要な費用
2時間	パワーポイントが映写できる環境(電子黒板、PC等)	なし

関連する単元	生活科「公共物や公共施設の利用」
--------	------------------

教科目標 学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身近な地域にどのような乗り物があるかを知り、公共物や公共施設等はみんなで使うものと理解する。 ■ 身近な公共交通の乗り方を学ぶ。
----------------	---

ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乗り方を写真を見ながら学んだり、模擬券売機で切符の購入を体験することで、より深い学習が出来ます。
------	--


学習内容


座学	<ul style="list-style-type: none"> ■ (座学1)身の回りの公共交通 ■ (座学2)公共交通のマナー ■ (座学3)バスの乗り方 ■ (座学4)電車の乗り方
----	---

体験	<ul style="list-style-type: none"> ■ (体験5)電車の切符購入体験
----	--

授業の流れ

※学校の先生に実施いただきます。

1時間目 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校の周りの公共交通について(20分) ■ バスの乗り方について(20分) ■ まとめ(5分) 	
--------------	---	---

2時間目 (座学 + 体験)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電車の乗り方について(25分) ■ 公共交通のマナー(15分) ■ 電車の切符購入体験(5分) 	
-------------------	---	---

<p>実施した学校の先生の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 模擬の券売機を用いた体験により、子どもたちが積極的に取り組んでくれ、校外学習当日にスムーズに電車に乗ることができた。 ■ 切符購入体験の掲示物を廊下に貼り出しておくと、何度も練習する児童がいて、効果的だった。 ■ 公共交通に愛着がわき、普段の生活の中でバスや電車に意識が向くようになった。途中途中でクイズがあり、最後まで楽しく話を聞いていた。
--

申込みについて



R8年度 交通環境学習 申込み(しがネット受付サービス)

【パソコンからの方】

「滋賀県交通環境学習申込み」で検索、もしくは下記URLからお申し込みください。

「滋賀県交通環境学習お申込み」URL

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/r8kotsukankyougakushu-moshikomi>

【タブレットからの方】

下記二次元コードを読み込んでお申し込みください。



【お申込み後について】

- ・入力いただいたメールアドレスに「仮受付」の完了メールが届きますので、必ず御確認ください。
- ・万が一メールが届かない、などございましたら滋賀県交通まちづくり政策課まで御連絡ください。
- ・メール内に帳票(申請の詳細)が表示できるURLの記載がございます。そちらから帳票をダウンロード・印刷いただき、控えとして手元にお持ちください。